

ここカラ見つける ここカラはじまる

リータンのニュースレター



今月号の内容：いたいなのいたいなの、とんでいけ～

ベビー&キッズサロン
リータ / よねだまさみの
ココロとカラダを育てる講座は
こちら！



教室や講座の様子はインスタグ
ラムで公開中！



お腹が痛い時、頭が痛い時、怪我をして痛い時、とっさに手で触れたりさすったりしませんか？

小さい頃、「痛い」ときは大人が優しく触れてくれた、という経験がみなさんあると思います。それが、熱がでたときの様に体温を感じるためであったり、怪我をしてどこがどうなのか？を知るためであっても、その手の温かみはどこか安心感を与えられるものではなかったでしょうか。

大人になった今でも、怪我をしたり、痛い時は、不思議ととっさに、自分の手でその部分に触れます。

保育士や幼稚園教諭の先生は、子どもたちが「痛い！」と訴えてきた時、それが大したものでもなくても「痛かったね！」という共感と、手で触れることを大切にしていると思います。それだけで、子ども達は安心するんですね。

そして、その触れられているときは、自分に、自分だけに向き合ってくれている…つまり「大事にされている」と感じる瞬間でもあるのです。

大人になっても、そのぬくもりはどこか懐かしく安心できるもの。

「触れる-触れられる」という心地の良い時間を、乳幼児期の今だからこそ大切にしたいですね。

自分が大切にされていると、その周りにいるお友達のこと自然と大切にできるんですよ。優しく寄り添う心は繋がっていきます。